

みらい

第54号

2023.春号



(道の駅四季の郷公園)

特集

◆前例がないからこそ
自分で道を切り開いていける！

◆講座報告

男女共同参画週間 特別公開セミナー

男女共同参画講座

男女共同参画出前講座

◆みらい図書室／みらい相談室だより

◆男女共生推進センター“みらい”

特別インタビュー

前例がないからこそ 自分で道を切り開いていける！

今回は、男性の職場というイメージが強く、女性職員の割合が約1.7%の和歌山市消防局で勤務する、松田由香里さんにお話を伺いました。

○消防士を目指したきっかけを教えてください。



小学3年生の頃、祖母が大動脈解離で倒れました。呼びかけに反応はなく、顔面蒼白の祖母の顔を今でも鮮明に覚えています。その後、救急隊員の方々により、迅速に適切な病院へ搬送していただき、緊急手術を受けた祖母は一命を取りとめ、現在も元気に過ごしています。祖母を乗せ緊急走行をする救急車、「大丈夫だよ。」と声をかけてくれた救急隊員の姿をずっと忘れることができず、救急隊員になりたいと思いました。

○体力仕事で男性の職種というイメージがあるが、実際はどうですか。

正直、体力のいる仕事です。私も学生時代はバスケットボールを続けており、体力には自信がりましたが、この仕事をする中で体力的に辛い時もありました。ですが、私一人で現場に出動するわけではありません。隊の中にも、体力自慢の隊員、知識が豊富な隊員、技術に優れた隊員など様々な隊員がいて、お互い助け合い協力しながら現場活動をしています。また、消防は現場仕事だけでなく、総務課業務、予防課業務、指令業務等さまざまな業務があります。妊娠中や育児中であっても、男女問わず働き続けることができる環境が消防にはあります。



救急小隊



予防課



消防総務課

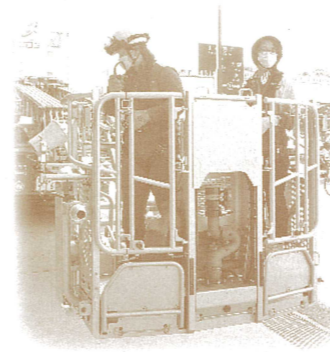
○こういったところにやりがいを感じていますか。

救急隊としてやりがいを感じる瞬間は、市民の方から「ありがとう」を言っただけの時です。以前、心肺停止になった市民の方に救命処置を行いながら救命センターに搬送した事案がありました。数か月後にご本人から「元気になって、孫と遊べます。本当にありがとうございました。」と直接ご連絡をいただいたときは、「やりがい」という言葉では言い表せられない感情でいっぱいになりました。

松田 由香里さん 和歌山市消防局 消防司令補

和歌山市消防局に2006年に採用。夫と共に2人の子どもの育児をしながら、そのキャリアをリタイヤすることなく、消防生活は17年目。これまで、消防隊、指揮調査隊、予防業務、消防学校教官などの業務を経験し、現在は救急救命士として和歌山市北消防署救急小隊で活躍。また、2020年には全国から選抜された消防職員が消防業務の知識の研鑽や意識高揚を図ることを目的として毎年開催されている、全国消防職員意見発表会において、和歌山県下で初めて最優秀賞を受賞。

○女性だから感じる現状の課題を教えてください。



特殊消火中隊

まだまだ消防は女性の割合が少ない職場です。当局において女性職員の占める割合は約1.7%となっており、それ自体が現状の課題であると思います。現場勤務をしながら妊娠した時の働き方、出産や育児により現場を離れることでの技術・知識等の衰え、24時間勤務と家庭の両立への不安等があったものの、ロールモデルがなく、それを乗り越えるイメージができませんでした。消防は女性・男性に関係なくやりがいを持って働くことができる仕事です。もっとこの消防という仕事の魅力を、多くの女性の皆さんに知ってもらいたいと思います。

○これから消防士を目指そうとしている女性や女性の少ない職種にチャレンジしてみようと考えている女性にメッセージを。

私自身、救急救命士を目指し当局に採用された際に、女性が非常に少ないことに驚きました。だからこそ、前例なく様々な道を切り開いていくことができます。17年この仕事を続けてきても、まだまだ女性が進出できていない部分が当局にはあります。また、24時間勤務で現場でも体力が必要な仕事ですが、それにも勝るとも劣らない「やりがい」を感じることができる仕事です。この消防という仕事が、多くの女性や男性の目に魅力的に映って欲しいと心から思っています。



男女共同参画への取り組み

和歌山市消防局では「女性が」ではなくすべての人が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。



女性専用スペースには鍵付きの浴室や仮眠室などを整備しています。

男女共同参画週間 特別公開セミナー

企業の成長・家族の幸せを約束する “男性の子育て・家事参画”

講師：渥美 由喜さん

(厚生労働省政策評価に関する有識者会議委員、民間シンクタンク研究部長)

男性の子育て・家事参画がもたらすメリット

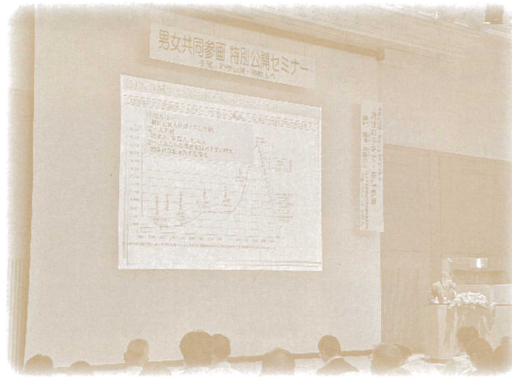
毎年、男女共同参画週間にちなんで和歌山県と共催で開催している男女共同参画週間特別公開セミナー。

今年度は令和4年6月1日に研究者、ワークライフバランスコンサルタントとして活躍されており、自身も育児休暇を取得、共働きの妻と子育てをされている渥美由喜さんを講師にお招きし、男性が子育てや家事に参画することがいかに家族や企業にとってメリットがあるかということをご自身の経験と研究で得たデータを基に、お話ししていただきました。



参加者の声

講演会に参加された方からは、「データを示されたうえで自身の体験からの情報を伝えてくれ、非常に引き込まれるお話を聞けました」「男性にワーク・ライフ・バランスが必要な理由が理解できました。」などの感想をいただき、性別に関わらず誰もが自分らしく活躍することができる男女共同参画社会について改めて考える有意義な時間となりました。



男女共同参画週間とは…

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するためには、国や地方公共団体だけでなく一人ひとりの取組が大事となります。

そのため男女共同参画推進本部は男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目的として、毎年6月23日から6月29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。

令和4年度のキャッチフレーズは『「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ』。このキャッチフレーズには「男だから」「女だから」といった性別による役割意識にとらわれず、自分の可能性を信じて、誰もが生きがいを感じられる社会を実現していくきっかけにという思いが込められています。



男女共同参画講座

男性講座 「家族が笑顔になる クリスマス料理講座」



コロナウイルスの感染防止の観点から、食に関する講座は延期や中止が多かったのですが、民間の「なるコミ」さんと和歌山市の中央公民館との共催事業として北コミュニティセンターでクリスマスに合わせて開催しました。対象は男性の保護者さんとそのお子様で、14組28名の皆さんが参加してくれました。メニューはチキンの照り焼きやポテトサラダとブロッコリーを使ったポテサラツリーなど、クリスマスにちなんだもので、最初は緊張気味で慣れない料理に苦労していましたが、だんだんとコツをつかみ、お子様と役割を分担しながら協力し合い、調理するのを楽しんでいました。

本講座は、男性の家事への参画やワークライフバランスの一環として、親子で一つのものを作り上げる達成感などを感じてもらうためのものですが、自分自身はもちろん、料理という自分以外の人も笑顔にすることができるものに触れ、参加者の皆さんは充実した一日を過ごすことができたのではないのでしょうか。



参加者の声

子どもと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

普段、家で妻に任せっきりでしたが、とてもいい機会になりました。これから子どもと一緒に少しずつ手伝っていきたいです。



男女共同参画講座

女性就労支援セミナー 「Excel & Word 初級講座」



昨年はコロナウイルスの急な感染拡大のため、やむを得ず中止となった人気の連続講座です。デジタル社会の昨今ではパソコン操作ができてあたりまえといった考え方が定着しつつあり、エクセルやワードは事務の仕事をする上で欠かせないスキルの一つになっているのではないのでしょうか。

今回はエクセル全3回、ワード全2回に分けてそれぞれ10名の参加のもと実施しました。参加者の皆さんは、先生の話にメモをとり、わからないところは積極的に質問するなど、真剣に受講されていました。「エクセルの入力程度はしたことがあるけれど、関数などをもっと勉強したい」といった方が多く、最終日の「IF関数」では少し苦戦しながらも、理解できた時の皆さんの顔は受講前と比べ自信に満ち溢れているように感じました。

本講座は子育てや介護などで一度離職した方や、今とは違った環境で就労したい方などにとって、講座を通じて就労に繋がるスキルを身につけていただくとともに、デジタルの基礎にふれていただくことで、その分野に興味をもっていただければと考えています。受講された皆さんには、それぞれの場所で今回学んだことが少しでも活かされることを期待しています。



参加者の声

また次回も受講したいです

講師の先生の説明がわかりやすかったです。少し苦手意識がなくなりました。

Excelの効率のよい使い方を教えて頂けてよかったです。



男女共同参画出前講座

男女共同参画出前講座って？

男女共生推進課では、事業所や地域、学校等で「男女共同参画」についてのお話をする、講師先生を派遣しています！



令和4年度は、このような出前講座を開催しました

デートDV防止講座

講師：伊田 広行さん（立命館大学非常勤講師）



デートDVの問題をもっと身近に

市内の大学からの依頼を受け、大学1年生を対象にデートDV防止講座を開催しました。

デートDVとは恋人間で起こるDVのことです。DVという言葉はメディアなどでも取り上げられ、よく耳にする言葉ですが、デートDVという言葉はまだ世間に広く認知されていません。講師先生は束縛することや自分の好みを相手に押し付けることがデートDVになるということや、相手に依存せずお互いが自立した

関係をもつことが、デートDVを防止することに繋がるなど、実際に起こった事例などを交えて丁寧にお話してくださいました。

生徒からは、「自分が知らない間に加害者になってしまわないようにしたい」や「自分の意見をしっかりもつことが大切」などといった感想をいただきました。

男女共同参画に関する講座

～男女共同参画社会の実現に向けて～

講師：鳥淵 朋子さん
(アクト研究室 代表)



男女共同参画とメディア・リテラシー

地域で活躍する女性団体から依頼をいただき、男女共同参画社会の実現に向けてと題して、出前講座を開催しました。講師先生はメディアリテラシーについて、時代の変化に伴って、自分たちが得る情報にも影響されていることを身近な事例を通じて、丁寧にお話してくださいました。

参加者の皆さんからは、「少し難しい話もあったけれど、身近な話題も交えながら話して下さったので

よかった」や「今まで何となく聞いてた言葉だったけど、この講座をきっかけに興味を持つことができた」などの感想をいただきました。



みらい図書館

「みらい図書館（情報ライブラリー）」では、男女共同参画に関する行政資料の閲覧や、図書の貸出を行っています。また、絵本や児童書、雑誌のバックナンバー（過去1年分）も取り揃えております。

【貸出期間：2週間／一人3冊まで】

なぜ理系に女性が少ないのか

著：横山 広美（幻冬舎）

経済協力開発機構（OECD）に加盟している国の中で、理系分野の女性の割合は日本が最下位だそうです。この衝撃的なジェンダーギャップ（男女格差）について、研究したのが本書です。女性の理系進出を阻んでいるのは、「男女平等意識」の低い日本の社会風土なのではないか？ データに基づいた検証を重ねて、明らかにしていきます。

女子サッカー選手です。そして、彼女がいます

著：下山田 志帆（偕成社）

著者の自己紹介が本のタイトルになっています。サッカー選手として活躍している著者が、自身の経験を交えて、「LGBTQ」の言葉の意味や、性に関する話、ジェンダーに関する話などを、やさしい言葉でわかりやすく説明しています。写真やイラストが多く、ふりがなも豊富なので、小・中学生にもおすすめできる本です。

ピンクは おとこのこのいろ

訳：ロバート・キャンベル
文：ロブ・パールマン
絵：イダ・カバン
(KADOKAWA)

「ピンク」という色に対して、どんなイメージを持っていますか？ この本は「色」をテーマにして、多様性について考えるきっかけを作ってくれる絵本です。性別に関わりなく、自分の好きな色を好きと言える、素直な気持ちを育んでくれます。



「令和4年度 雑誌のリサイクル」を開催しました

みらい図書館で貸し出ししている雑誌のバックナンバーを、無料でおゆすりするイベントを開催しました。2018年4月から2021年3月までの雑誌、およそ350冊がリサイクルの対象となりましたが、好評につき、ほぼ全ての雑誌をお持ち帰りいただけました。ご参加ありがとうございました。

みらい相談室だより

辛い思いを聞いてくれる人はいますか。

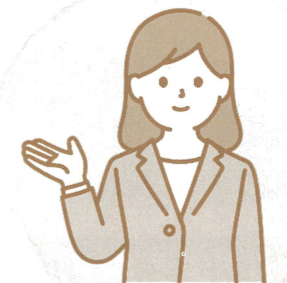
家族や友達、あなたの気持ちを受け止めてくれる人はいますか。

辛い思いを抱え込まないで、少し誰かに話せたら、

抱え込んでいた辛さが、軽くなるかもしれません。

一步を踏み出すお手伝いできればと思います。

1人で悩まないで、電話で話してみませんか。

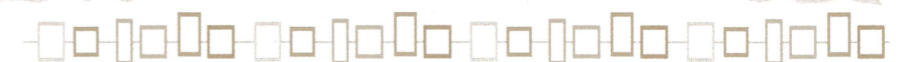


男女共生推進センターみらい相談室

相談専用電話 073-431-5528

相談時間 10:00～16:00（休館日・祝日を除く）

*女性相談員による相談電話です。*ナンバーディスプレイは使用していません。

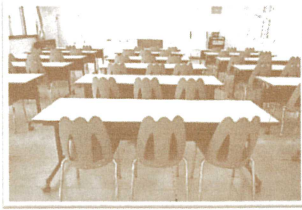


男女共生推進センター“みらい”

開館時間 8:30~21:00

5階

研修室 (定員54人)

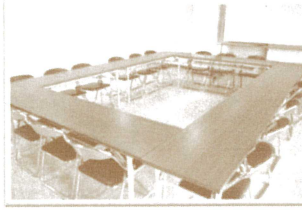


【利用料金】

午前 (9時~12時)	4,190円
午後 (13時~17時)	5,550円
夜間 (18時~21時)	4,190円

- ・各種会議や研修会、合唱の練習等でお使いいただけます。
- ・電子ピアノ (1回 520円)、スクリーン (無料 ※プロジェクターはご持参ください) 利用できます。

第1会議室 (定員18人)



【利用料金】

午前 (9時~12時)	1,460円
午後 (13時~17時)	1,880円
夜間 (18時~21時)	1,460円

6階

(客席・舞台あり)

ホール (定員153人 194.36㎡)



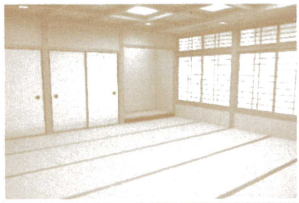
(フラット)

【利用料金】

	ホール	控室
午前 (9時~12時)	6,070円	520円
午後 (13時~17時)	8,060円	620円
夜間 (18時~21時)	6,070円	520円

- ・ピアノや合唱の発表会、練習、ダンスや体操等でお使いいただけます。
- ・ホールご利用の場合に限り、7階の控室のご利用が可能です。
- ・グランドピアノ (1回 3,140円)、スクリーン (無料 ※プロジェクターはご持参ください) 利用できます。

和室 (18畳)



【利用料金】

午前 (9時~12時)	2,400円
午後 (13時~17時)	3,140円
夜間 (18時~21時)	2,400円

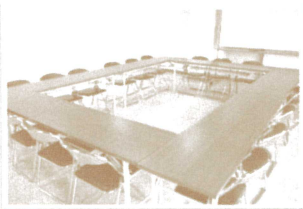
子供室



当課主催の講座開催時等における一時保育の場です。また、貸館利用される方のお子さんは、保護者の方と一緒に遊ぶお部屋となっています。
※子供室だけのご利用はできません。

7階

第2会議室 (定員18人)



【利用料金】

午前 (9時~12時)	1,460円
午後 (13時~17時)	1,880円
夜間 (18時~21時)	1,460円

男女共生推進センター“みらい”では、各種施設を貸出しています。
新型コロナウイルス感染拡大予防のため、利用に際して留意事項があります。
詳しくはお問い合わせください。



和歌山市男女共生推進センター“みらい”

所在地 〒640-8226 和歌山市小人町29番地
(あいあいセンター5~7階)

TEL (073) 436-8704

FAX (073) 432-4704

Eメール danjokyousei@city.wakayama.lg.jp

開館時間 8:30~21:00

(貸館受付、及び図書室利用時間等窓口業務は9:00~17:00)

休館日 月曜日、年末年始(月曜日が祝日と重なる時は、その次の平日)

交通 JR和歌山駅からバス停「市役所前」下車、徒歩5分

南海和歌山市駅から徒歩10分

※地下駐車場は、駐車台数に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください

